

2023 年第 1 回 IEEE 東京支部理事会 議事録（案）

日 時：2023 年 3 月 17 日（金）12:00~14:00

場 所：機械振興会館 6 階 6D-4

出席者：相澤 Chair、佐田 Vice Chair、奥村 Secretary、樋口 Treasurer

<以下、敬称略・順不同>

添谷、森田、賀屋、中村、松尾、植村、廣畑、河東、太田、小野寺、Kawamoto、重松、前原、西宮

事務局：加藤、福岡

幹事会社：金、木村

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 (資料 1)
2. 2023-24 東京支部理事会構成【審議】 (資料 2)
3. 2022 年決算報告および監査報告 (資料 3)
4. 2023 年活動計画および 2023 年予算 (資料 4)
5. 2023 年中間会計報告 (資料 5)
6. 2023 年総会資料【審議】 (総会資料)
7. 委員会活動報告
 - ・ Chapter Operations Committee (資料 7-1)
 - ・ Fellow Nominations Committee (資料 7-2)
 - ・ Membership Development Committee (資料 7-3)
 - ・ Technical Program Committee (資料 7-4)
 - ・ Publications Committee (資料 7-5)
 - ・ Student Activities Committee (資料 7-6)
 - ・ History Committee (資料 7-7)
 - ・ Nominations Committee (資料無し)
8. Affinity Group 活動報告
 - ・ Life Members Affinity Group (資料 8-1)
 - ・ Young Professionals Affinity Group (資料 8-2)
 - ・ Women in Engineering (資料 8-3)
9. その他
 - ・ R10 Meeting 報告 (資料 9-1)
 - ・ 記念行事情報共有 WG について (資料 9-2)
 - ・ SIGHT 報告 (資料 9-3)
 - ・ [参考] グレード別会員数の推移
 - ・ [参考] Society 別会員数の推移

【議事】

0. IEEE 東京支部相澤 Chair より開会の挨拶

相澤 Chair より開会の挨拶が述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認

【審議→承認】 (資料 1)

奥村 Secretary より前回理事会の議事録について説明があり、審議・承認された。

2. 2023-24 東京支部理事会構成

【審議→承認】 (資料 2)

奥村 Secretary より 2023-24 年の東京支部理事会の構成、JC 代表理事の推薦について説明があり、審議・承認された。

3. 2022 年決算報告および監査報告

(資料 3)

前原 Past Treasurer より 2022 年の決算と監査の説明があった。2022 年の収入は円安の影響もあり、2022 年度比 114%と予算よりも決算が大きく上回り、支出は計画通りになったとの説明があった。

4. 2023 年活動計画および 2023 年予算

(資料 4)

奥村 Secretary より 2023 年の活動計画について説明があった。講演会や学生支援活動を積極的に進めていくこと、より多くの Milestone を認定していくこと、Industry Promotion が 2024 年に東京支部に戻ってくること、Senior Member や Fellow の数を増やしていきたいこと、Chapter 支援費を 2024 年から東京支部に移管する方向であること等の説明があった。

樋口 Treasurer より 2023 年の予算について説明があった。予算案は 2022 年の 4 回目の理事会で一度承認されたが、そこから支出について 2 点変更し、R10 の Section Matching Fund に使うことを想定した支出と、Section Congress が現地開催の予定であることを想定した支出を計上したことについて説明があった。本予算について審議・承認された。

5. 2023 年中間会計報告

(資料 5)

樋口 Treasurer より 2023 年の中間会計の説明があった。総会運営費用がかかっており、事務費は見込み額を記載しているとの説明があった。

6. 2023 年総会資料

【審議→承認】 (総会資料)

奥村 Secretary より、2023 年東京支部総会の資料について説明があり、審議・承認された。

7. 委員会活動報告

Chapter Operations Committee

(資料 7-1)

添谷 COC Chair より、MOU の申請、Chapter 支援費の Section への移管等について説明があった。各 Chapter との情報共有について、JC COC のように定期的にチャプターとの情報交流会を開くことを含めて Secretary と相談中であるという説明があった。

Fellow Nominations Committee

(資料 7-2)

森田 FNC Chair より、東京支部の Fellow は 11 名から 9 名に減少したが、Senior 昇格者は計画の 3 倍以上となったこと、Fellow 増強のために電子情報通信学会の Fellow でまだ IEEE の Fellow ではない方へのコンタクトについてなど、今後の検討項目の説明があった。

質疑応答では、JC でも Fellow 増強に向けて高村 JC Past Vice Chair が他の学会との連携を進めているとのコメントがあり、森田 FNC Chair が高村 JC Past Vice Chair との連携を検討するとの回答があった。

Membership Development Committee

(資料 7-3)

賀屋 MDC Chair より、会員数について説明があった。新規会員の勧誘、既存会員の継続、Senior Member 昇格申請、Life Member 申請の促進等の 2023 年の活動計画について説明があった。バッジの配布は 4 月に実施する予定であるとの説明があった。

質疑応答では、前年同月比の会員数の減少について質問があり、賀屋 MDC Chair が原因について確認するとの回答があった。

Technical Program Committee

(資料 7-4)

松尾 TPC Chair より、TPC 主催の講演会を年 6~7 回、LMAG との共催で 10 回予定しており、YP との合同講演会について継続していく等の説明があった。

Publications Committee

(資料 7-5)

廣畑 PC Chair より、東京支部理事会や総会、新 Fellow 表彰式等を記事にする予定であること、2023-2024 年の役員、理事、委員会の名簿更新、HP の更新状況等の説明があった。

Student Activities Committee

(資料 7-6)

植村 SAC Chair より、ワークショップや新入生の歓迎活動計画のサポートをすること、東京支部 SB の状況、20 回目の Towers を計画していること、ソウルセクションと学生交流を検討していること等の説明があった。

History Committee

(資料 7-7)

河東 HC Chair より、今後の活動計画についての説明があった。Milestone 申請支援や授賞式支援を引き続き進めること、東京支部で提案しているものや提案を予定している案件等の説明があった。

Nominations Committee

中村 NC Chair より、今後の予定について説明があった。役員や理事選出など一連のスケジュールを前倒しで進めたこと、次回も前倒しでスケジュールをたてるために、2023 年 12 月にスケジュールを提出し、5 月上旬に候補を出す予定にしたいとの説明があった。

8. Affinity Group 活動報告

Life Members Affinity Group

(資料 8-1)

太田 LMAG Chair より、LMAG の存在を認識してもらうために、昇格のお祝いメッセージを新 Life Member に送ったこと、Life Senior 昇格申請の呼びかけをしたこと、講演会と見学会を計画していること、学生との連携を考えながら模索していくことについて説明があった。

Young Professionals Affinity Group

(資料 8-2)

小野寺 YP Vice Chair より、役員が決まっていないこと、そのため活動方針は暫定案であることの説明があった。学生が YP への参加価値を感じてもらえるような活動を目指すこと、2023 年 10 月以降はイベントを計画していきたいこと等が説明された。

Women in Engineering

(資料 8-3)

Kawamoto WIE Chair より、2022 年 12 月に Red Carpet Ceremony 2022 を開催し大人が 21 名、子どもが 4 名参加したこと、2023 年 3 月に Online “One-cup-of-coffee” break for International Women’s Day を開催したこと、東京支部・信越支部 WIE 主催の年次イベントとして、2023 年アニュアルシンポジウムを計画していること等の説明があった。

9. その他

R10 Meeting 報告

(資料 9-1)

奥村 Secretary より 3 月 4、5 日にベトナムのホーチミンで開催された R10 の Meeting の参加報告があった。東京支部を含めた各支部が表彰を受けたこと、2002 年から 2022 年の間において日本で SYWL の開催がなく、現在橋本次期 R10 Director が誘致に向けた活動が行われていること等の説明があった。

記念行事情報共有 WG について

(資料 9-2)

奥村 Secretary より、各支部の周年記念行事や記念行事情報共有 WG について説明があった。東京支部は 25 周年の周期ではなく 2023 年は記念行事をやらないこと、記念行事などで講師を依頼する場合の謝礼について確認中であること等の説明があった。来年は MAW が東京支部に戻ってくることから、今年は周年記念行事はやらないことの確認が行われ、承認された。

SIGHT 報告

(資料 9-3)

西宮 SIGHT IEEE Tokyo Section Interim Chair より、SIGHT の紹介と今後の活動計画について説明があった。これまでは共催のイベントが多かったが、今年は SIGHT 主催のイベントを検討したいとのこと、R10HTC への派遣を検討しており、予算を申請したいこと等の説明があった。

グレード別会員数の推移／Society 別会員数の推移

奥村 Secretary より、会員数の推移について説明があった。学生や若い人が全体的に増えている一方で、全体としては 1%減っている等の説明があった。